

平成29年3月27日
企画調整局

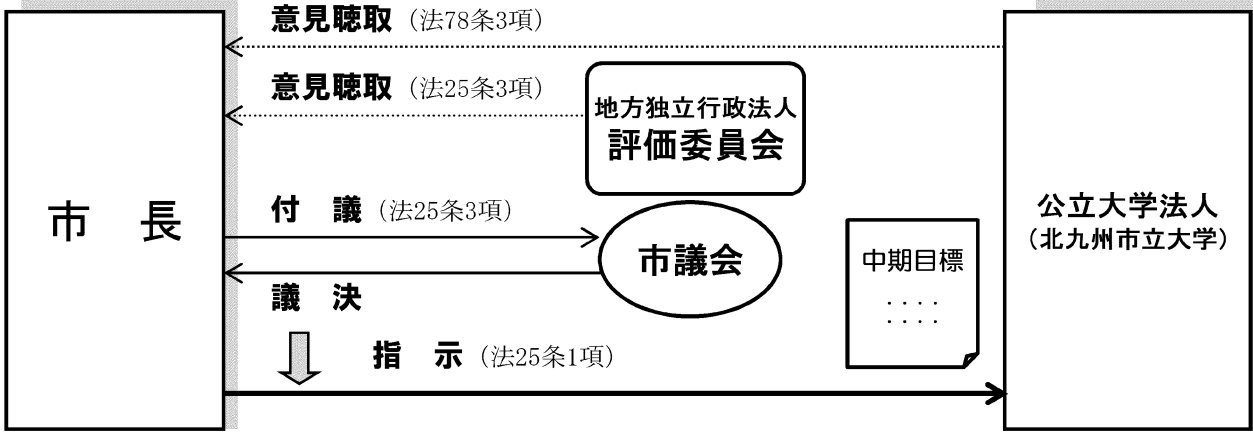
公立大学法人北九州市立大学の中期計画について

1. 公立大学法人北九州市立大学の中期計画について . . . 資料1
2. 公立大学法人 北九州市立大学 第3期中期計画（概要） . . . 資料2
3. 公立大学法人北九州市立大学中期計画 . . . 資料3
4. 平成29年度からの北九州市立大学の理事長、学長について . . . 資料4

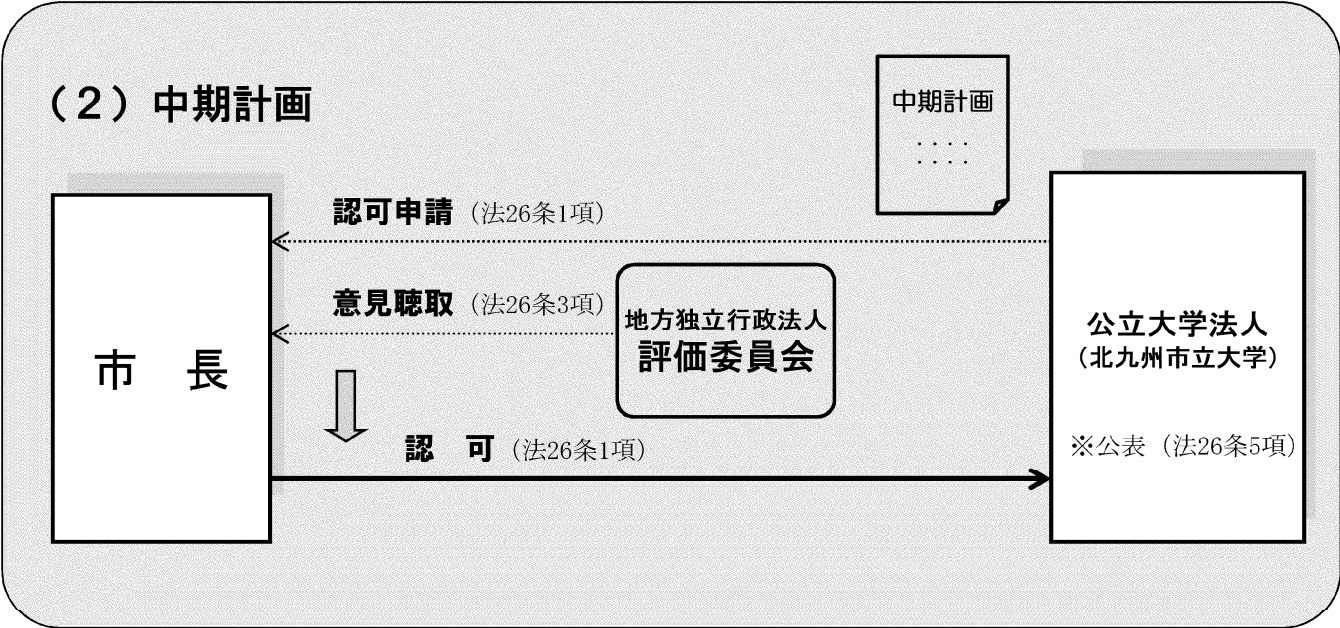
公立大学法人北九州市立大学の中期計画について

・中期計画とは、地方独立行政法人法に基づき、市長が指示した中期目標を達成するために、大学が策定する具体的な計画であり、市長の認可を要するもの。

(1) 中期目標



(2) 中期計画



公立大学法人 北九州市立大学 第3期中期計画（概要）

（平成 29 年 4 月～平成 35 年 3 月）

第3期中期計画では、18 歳人口のさらなる減少による厳しい大学間競争の中、

- ・「地域」「環境」「世界(地球)」の3つの個性化の推進による大学のプレゼンスの向上
- ・大きく変化する時代に柔軟に対応し地域や社会に貢献できる人材の育成
- ・地方創生への積極的協力

の3つを基本方針とする、質の高い教育・研究や大学の個性化の推進等に取り組み、「地域に根ざし、持続可能な選ばれる大学」を目指す。

〈 第3期中期計画の主な取組み 〉

1 教 育

【学部・学群教育の充実】

- グローバル社会の諸課題に対応できる人材の育成に向けて、外国語学部等を見直し、新教育組織を整備
- ディプロマ・ポリシーへの学生の到達度測定の仕組みの構築とPDCA サイクルによる学修成果の可視化等による内部質保証
- 卒業後の社会との接続をふまえた、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)・教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の一体的・整合的観点からの見直しと教育課程の再編

【大学院教育の充実】

- 地域企業のビジネス支援や起業支援
- 学部推薦制度の実施等学部生への働きかけや広報活動の充実、外国人留学生向けの夏期入試導入等による定員充足率の改善

【社会人教育の充実】

- アクティブ・シニアを含む社会人のニーズを踏まえた新たな社会人教育プログラムの創設

【入学者選抜の改善】

- ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーと連動させた入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)の見直し及び国の入試改革の動向を踏まえた多面的かつ総合的な個別選抜の見直し

【就職支援の充実】

- 段階的なキャリア教育によるキャリア意識の醸成
- 学生一人ひとりの進路希望・就職活動状況の把握から、就職相談・斡旋に至るまでの一貫した就職支援による実就職率の向上

2 研究

【研究の方向性】

- 環境技術研究所における新薬などバイオマテリアル分野、介護・生活ロボット、新エネルギーへの転換に関する環境関連産業技術など、国際的な研究開発拠点の形成、既存産業の高度化、次世代産業の創出に資する研究・開発の推進

3 社会貢献

【地域社会への貢献】

- 文部科学省補助事業終了後も北九州まなびとESDステーションを継続し、北九州市、北九州ESD協議会、市内10大学の連携による課題解決型学修を推進
- 日本人学生と留学生が入居する(仮称)国際交流会館の整備による多文化交流・コミュニケーション拠点の形成

【地元就職率の向上】

- 北九州市や北九州商工会議所等との連携により、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)を推進し、まなびとJOBステーションで学生と地元企業とのワークショップや地元企業ガイダンス等を開催

- 地域の文化・歴史・経済・社会等に関する地元企業等による講義等を組み入れた授業科目の開講、地元インターンシップ先の拡大等による地元就職率の向上

4 管理運営

【組織及び業務の改善】

- 教育研究組織と事務組織が連携した自立的な運営体制の確立
- 事務職員の能力向上及び市派遣職員のプロパー職員への計画的転換

【安定的な大学運営】

- 新たな外部研究資金の獲得や大学施設を活用した自主財源の確保

【積極的な情報の提供】

- 将来ビジョンコンセプト「地域」「環境」「世界(地球)」の活用による大学の特色や活動の積極的な情報発信と認知度向上

【施設・設備の整備】

- 将来施設整備計画、更新・改修の長期計画の作成にもとづく、計画的なキャンパス整備
- ICT 環境の整備による ICT 活用の推進

【法令遵守等】

- 危機管理体制の強化及び危機発生時の適切な対応

〈参考〉第3期中期計画における数値目標項目

項目	目標	備考
副専攻「環境 ESD プログラム」の履修学生数	プログラム定員の90%以上	H27 実績:62.5%
基盤教育の英語レベル	TOEIC470点相当以上 到達者割合50%以上	H27 実績:北方 51.5% ひびきの 44.5% (H23 実績:北方 56.7% ひびきの 8.0%) ※50%以上の維持を目標とする
英米学科の英語レベル	TOEIC730点相当以上 到達者割合50%以上	H27 実績:70.0% (H23 実績:20.8%) ※50%以上の維持を目標とする
中国学科の中国語レベル	中国語検定2級相当以上 到達者割合50%以上	H27 実績:54.0% (H25 実績:38.0%) ※50%以上の維持を目標とする
海外での学習体験者数	平成34年度までに1.5倍 以上(平成27年度比)	H27 実績:138名
事前事後学修時間	平成34年度までに1.5倍 以上(平成28年度比)	H27 実績:7.02 時間/週
FD(※)活動への教員の 参加率	70%以上	H27 実績:26.7% ※全学 FD 研修参加率の平均
シビックプライドの醸成	地域共生教育センターの プロジェクト参加学生の 90%以上	—
地域共生教育センター のプロジェクト参加者数	平成34年度までに10%増 (平成27年度比)	H27 実績:304名
平成31年度地元就職率	28.5%以上	H26 実績:18.5% ※H26 実績比 10 ポイント増を目標 とする
外部研究資金	年間6億円以上	H27 実績:6.8 億円 ※6 億円以上の維持を目標とする

(※) FD (ファカルティ・ディベロップメント) :

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組